

令和7年産

一般慣行育苗ごよみ

JAふくおか嘉穂
飯塚普及指導センター

○早植、普通期育苗(25日苗、平床育苗)

特栽米は種子消毒・育苗中の肥料・農薬は使用できません

早植・普通期育苗

月日	は種前後日数	農家記入	主な作業	管理ポイント																														
5/6	-10	/	床土の準備	<ul style="list-style-type: none"> 山土の場合 1箱当たり床土4ℓ(2升3合)、覆土は0.9ℓ(5合)準備する。pHは5~6が適当。初穀くん炭を3分の1程度混ぜる。育苗肥料(4・4・4)を1箱当たり20g混ぜる。 合成培土の場合 1袋(20g)で6箱分使用する。 <p>表-1 水10ℓに溶かす量</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>比重</th> <th>食塩</th> <th>硫安</th> </tr> <tr> <td>うるち</td> <td>1.13</td> <td>1.94kg</td> <td>2.68kg</td> </tr> <tr> <td>もち</td> <td>1.08</td> <td>1.11kg</td> <td>1.46kg</td> </tr> </table> <p>●生タマゴによる判定</p> <p>特別栽培米の種子消毒(温湯消毒他の方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> 種粉を60℃のお湯に10分間浸漬。浸漬後、すぐに冷水で冷やす。(温度と時間を厳守する事。温度が高かったり、時間が長いと発芽不良を起こすし、逆に低かったり、短いと消毒効果が低下する。) 温湯消毒を行う場合、種粉の塩水選はしないで下さい。 また、苗もち等の苗病害予防として、浸種~催芽時に24時間エコホープDJ(微生物農薬)200倍液に浸せきする。さらに、は種直後覆土前にカスミン液剤(抗生物質)5倍液を1箱当たり50ml散布する。 *ただし専用の機械が必要です。 		比重	食塩	硫安	うるち	1.13	1.94kg	2.68kg	もち	1.08	1.11kg	1.46kg																		
	比重	食塩	硫安																															
うるち	1.13	1.94kg	2.68kg																															
もち	1.08	1.11kg	1.46kg																															
5/11	-5	/	塩水選 種子消毒 浸種	<ul style="list-style-type: none"> 種子は、10a当り2.5~3.0kg準備する。 塩水選は、表1のとおり塩水をつくり、浮いた粉を取り除く。塩水選をした後は必ず水洗いをして塩分を落とす。 種子量と同量以上の薬液に24時間浸せきする。その間に3回程度混ぜる。 <p>表-2 被覆資材</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>被覆日数</th> <th>注意事項</th> </tr> <tr> <td>黒色寒冷紗</td> <td>8日程度</td> <td>トンネルにして被覆する方が望ましい</td> </tr> <tr> <td>不織布</td> <td>7~8日</td> <td>灌水時は不織布を取り除く</td> </tr> <tr> <td>太陽シート</td> <td>7日程度</td> <td>降雨時・灌水時は取り除く(ベタ被覆の場合)</td> </tr> </table> <p>種消毒</p> <table border="1"> <tr> <th>種子消毒</th> <th>2薬剤混用</th> <th>倍率</th> <th>種子</th> <th>薬量</th> <th>希釈水量</th> </tr> <tr> <td></td> <td>テクリードCフロアブル</td> <td>200倍</td> <td>10kgの場合</td> <td>100ml</td> <td>20ℓ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スミチオン乳剤</td> <td>1000倍</td> <td></td> <td>20ml</td> <td></td> </tr> </table> <p>●図-1</p> <p>100箱分 ナエファインフロアブル 50ml ベンレート水和剤 100g</p> <p>↓ 1箱に500ml灌注</p>		被覆日数	注意事項	黒色寒冷紗	8日程度	トンネルにして被覆する方が望ましい	不織布	7~8日	灌水時は不織布を取り除く	太陽シート	7日程度	降雨時・灌水時は取り除く(ベタ被覆の場合)	種子消毒	2薬剤混用	倍率	種子	薬量	希釈水量		テクリードCフロアブル	200倍	10kgの場合	100ml	20ℓ		スミチオン乳剤	1000倍		20ml	
	被覆日数	注意事項																																
黒色寒冷紗	8日程度	トンネルにして被覆する方が望ましい																																
不織布	7~8日	灌水時は不織布を取り除く																																
太陽シート	7日程度	降雨時・灌水時は取り除く(ベタ被覆の場合)																																
種子消毒	2薬剤混用	倍率	種子	薬量	希釈水量																													
	テクリードCフロアブル	200倍	10kgの場合	100ml	20ℓ																													
	スミチオン乳剤	1000倍		20ml																														
5/16	0	/	は種	<ul style="list-style-type: none"> は種量は、催芽粉で150g程度とし、できるだけ薄まきする。 は種時にナエファインフロアブル1000倍とベンレート水和剤500倍液を1箱当たり500ml散布する。図1参照。 平床育苗で太陽シートを使用する場合は必ずベタがけとする。寒冷紗又は不織布の場合は、ベタがけ又はトンネル方式のいずれでも良い。 出芽後カビの発生が見られた場合、は種後14日までにダコレート水和剤500倍液を1箱当たり500ml灌注する。 被覆資材は、苗丈が4~5cm程度に伸びたら除去する。表-2参照。 <p>図-1</p>																														
5/21	5	生産履歴は必ず記帳しましょう。																																
5/26	10																																	
5/31	15																																	
6/5	20	/	弁当肥	<ul style="list-style-type: none"> 弁当肥は、田植3日前に、水10ℓに硫安を30g溶かし20箱にジョロで散布する。散布後必ず葉水をかける。(苗の葉色が濃かったり、徒長苗の場合は、弁当肥は行わない。) 																														
6/10	25	/	箱施薬 箱田	<ul style="list-style-type: none"> 箱施薬については、稲作ごよみに沿って使用する ※育苗センターの苗(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリ)は箱施薬(ブーンゼクテラ箱粒剤)入りです。田植前に箱施薬を散布する必要はありません。 ※箱施薬剤の使用上の注意 ①施薬量は、必ず1箱50gにする。 ②箱施薬は育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、薬剤がおちつくように軽くかん水する。 ③田植当日散布の場合は、苗移動等で薬剤が落ちたりするので注意する。 																														